

西根地域づくり計画書

〔令和6年11月策定〕

「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」

10～30 歳代 132 人 (51%)

若者が住み続けたいと思う西根にする

⑥つのアイデアを書きました。



旧西根小学校校庭に根を張る樹齢約 150 年の梅檀（せんだん）の木

西根地区振興協議会



〔角田市ホームページ〕

○地区振興協議会長あいさつ

本地区計画は、昨今の人口課題を踏まえつつ、これからの「西根の力」を示していくものです。

今回の計画策定に当たっては、これまでの計画・実践活動の教訓を総括し、若者の視点・感覚をたくさん取り入れていただきました。地区民みんなの英知を総結集し「協働のまちづくり」を進め、西根地区を元気よく、活気ある方向に歩いていく指標ともなります。

皆さんがこの西根地域づくり計画書をご一読され、持続可能な地域づくりの一助となれば幸いです。



黒田 恒男

○地域づくり計画策定委員長あいさつ

昨年6月から1年掛けて西根の将来ビジョンを検討してきました。私を含め、各区から3名ずつ選ばれた委員の皆さんのほとんどが、何を話し合ったら良いか分からない状態からのスタートでした。皆さんのお力で、新しい西根地域づくり計画書が良いものにまとまったと思います。

令和3年の西根地区づくりアンケートで、10～30代の回答が「どちらかと言えば」を含めた「住み続けたくない」との回答が51%に上ったことが衝撃的でした。新しい計画書が、これらの人々に「西根に住み続けたい」と思ってもらえる指針になればと願っています。



熊谷 隆

「市民と行政の協働のまちづくり」とは、市民と行政が対等の立場で、創造的に相互に補完しあいながら、自治力・行政力を高め地域社会を創り上げていくことであり、地域住民の身近な「助け合い・支え合い」も協働の一つになります。

地域課題は多様化・複雑化しておりますが、自分たちの暮らす地域のことを誰かに任せてしまうのではなく、「地域でできることは地域で」という意識と責任のもとで、身近なところから主体的に実践していくことが求められています。

目次

1. はじめに	1
(1) 西根地区の概要	
(2) 地域づくり計画について	
(3) 地域づくり計画の見直しについて	
2. これまでの活動の成果と課題等	3
(1) これまでの活動の成果	
(2) 現地域づくり計画書の振り返り・評価	
(3) 西根地区の課題	
(4) 西根地区づくりアンケート結果	
3. 西根地区の将来像・目標	7
西根地区振興協議会の『6つのアイデア』	
4. 具体的な活動	8
(1) 地区民が気軽に集えるような交流の機会をつくれます!	
(2) 若者の意見を取り入れた親しみのある活動を行います!	
(3) ゴミのポイ捨て・不法投棄のないきれいな地区にします!	
(4) 共同作業への参加促進を図ります!	
(5) 高齢者も安心して暮らせる地区を目指します!	
(6) 農地の管理・保全を図ります!	
5. 地域づくり計画の推進体制	12
6. 地域づくり計画策定委員等名簿	13
(1) 地域づくり計画策定委員	
(2) 地域支援班員(角田市職員)	
(3) 自治センター職員	
7. 参考資料	14
(1) 現地域づくり計画書の振り返り・評価	
(2) 地域づくり計画策定委員会等開催状況	
(3) 『梅檀(せんだん)の木[表紙写真]』紹介	

1.はじめに

(1) 西根地区の概要

西根地区は、角田市の西方に位置し、西は丸森町及び白石市、北は大河原町に隣接する自然豊かな農村地域です。地区内には、白鳥の飛来する「手代木沼」や国指定の重要文化財である「勝楽山高蔵寺」があり、豊かな自然と古の文化の香り高い地区です。

また、「西根たんぼアートを楽しむ会」や「桜とせんだんの木を守る会」、「ボランティア友の会」などの地域コミュニティ団体の活動も活発で、地域活性化の原動力となっています。

令和6年2月1日現在、745世帯、1,904人(男性:980人、女性:924人)が暮らしています。高齢化率(人口に対する65歳以上の高齢者の割合)は49.3%で、角田市内9地区で一番高齢化が進んでいる状況となっています。



西根たんぼアート



梅檀(せんだん)の木

(2) 地域づくり計画について

地域づくり計画とは、地域の特性や自然、歴史、文化、人材などの地域資源や地域課題を整理し、課題の解決方法や将来像を実現する方法などを地域のみなさんで話し合いながらまとめた地域づくりの指針となるものです。

西根地区では、平成22年6月に策定しておりますが、地域を取り巻く環境は大きく変わってきており、住民ニーズや地域課題も多様化・複雑化しています。このようなことから、次の10年に向けて地域づくり計画の見直しを行いました。

(3) 地域づくり計画の見直しについて

地域づくり計画の見直しにあたっては「地域づくり計画策定委員会」を設置し、行政区からの推薦委員と公募委員の37名で話し合いを進めてきました。

「地域づくり計画策定委員会」は、これまでに16回開催し、令和3年11月に実施した「西根地区づくりアンケート」を参考にしながら地区の課題やその対策などについて6グループに分かれワークショップ形式で行ってきました。

毎回、様々な議論がなされ、あらためて生まれ育った西根地区のいいところや課題を再確認することができました。そして、将来にわたって、今以上に安心して楽しく暮らせる地区にしていこうという目標を共有し取り組んできました。



2. これまでの活動の成果と課題等

(1) これまでの活動の成果

西根地区振興協議会では、これまでに球技大会や敬老会、高蔵寺ホタルまつりなど、地区のコミュニティ事業に取り組んできました。

また、せんだん公園やせせらぎ公園の維持管理も行ってきました。

この間、たくさんの地区民や各種団体との協働により、みんなで西根地区の今を創ってることができました。楽しい西根・活気のある西根を目指して今後も活動を継続していきます。



ふれあい運動会



地区民球技大会



高蔵寺ホタルまつり



ふるさと敬老の集い

(2) 現地域づくり計画書の振り返り・評価

地域づくり計画の見直しの中で、西根地区振興協議会理事会において平成22年6月に策定した現地域づくり計画書の振り返りを行いました。

現地域づくり計画書では、分野別に33事業が記載されており、今後も地域づくりに必要な事業として「地域のおもてなし隊推進事業」や「ホタルの里づくり事業」など16事業を継続していくことになりました。

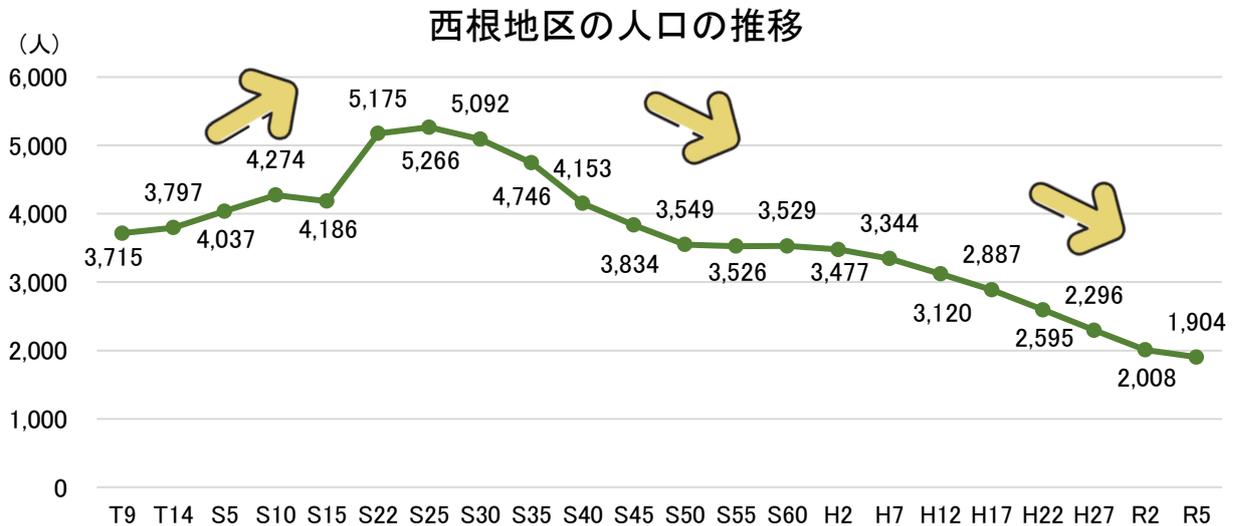
また、目標が達成された事業や実施が難しい事業、現状にそぐわなくなった事業など17事業が終了となりました。

詳細については、14ページの参考資料をご確認ください。

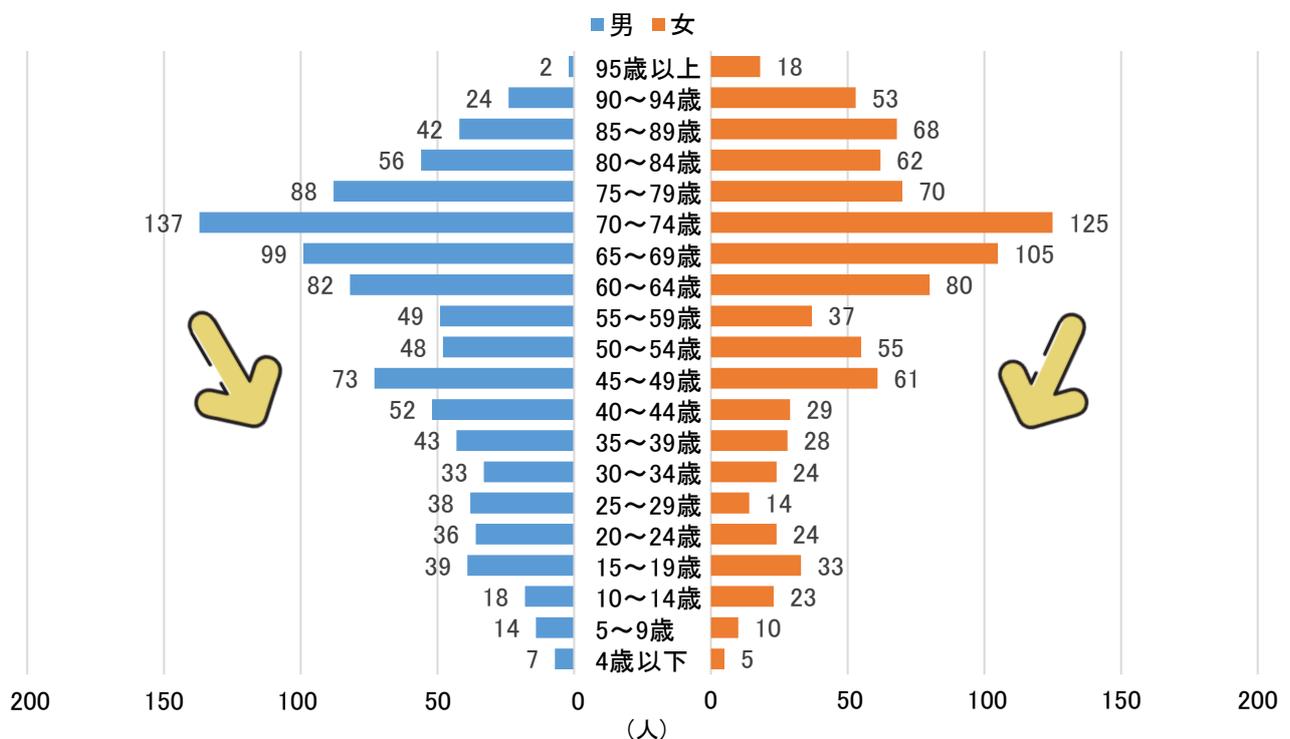
継続事業についても、引き続き取り組んでいきます。

(3) 西根地区の課題

西根地区では人口減少・少子高齢化が深刻な状況となっており、安心して暮らすことのできる地区であり続けるためにも、コミュニティの維持や地域づくりの活動を担う人材の確保が喫緊の課題となっています。



西根地区の人口ピラミッド(令和6年2月1日現在)



ポイント

人口ピラミッドを見ると人口減少の深刻さが見て取れますが、逆に考えると少ないからこそ各世代のコミュニティグループが作りやすいとプラスに考えることもできます!

(4) 西根地区づくりアンケート結果

令和3年11月には、西根地区に居住する中学生以上に「西根地区づくりアンケート」を実施しました。

アンケート結果の一例については下記のとおりです。

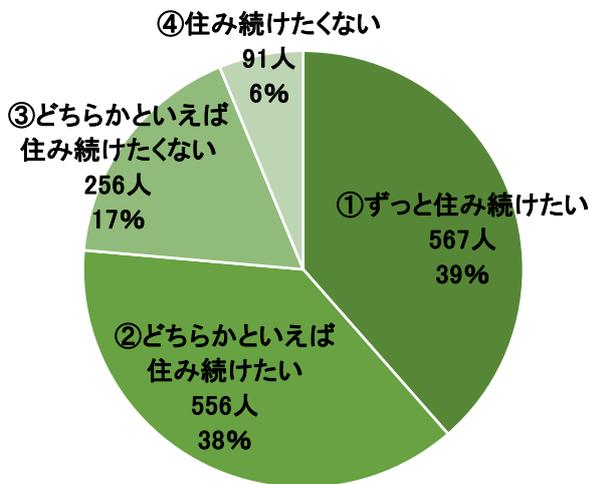
※「アンケート結果報告書(概要版)」については、
右記のQRコードからご確認ください。



〔アンケート結果報告書〕

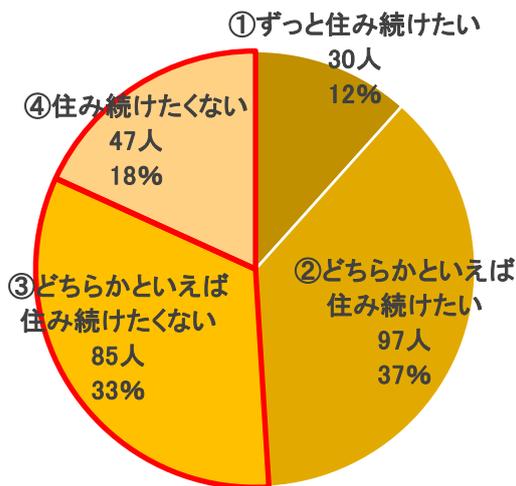
設問:「これからも西根地区に住み続けたいと思っていますか」

〔回答者:1,470人〕



回答者:選択理由	
①	・家があるから、住み慣れた場所だから
・	・人間関係が良いから
②	・長年住んでいて他に行く所がないから
③	・交通、買い物が不便だから
・	・人口減少、少子高齢化しているから
④	・自然が豊かだが維持管理が大変だから

〔回答者のうち10~30歳代:259人〕



回答者のうち10~30歳代:選択理由	
①	・家があるから、生まれ育った場所だから
・	・自然が豊かだから
②	・友人、知人がいるから
③	・交通、買い物が不便だから
・	・都会の方が便利で住みやすいから
④	・仕事がないから

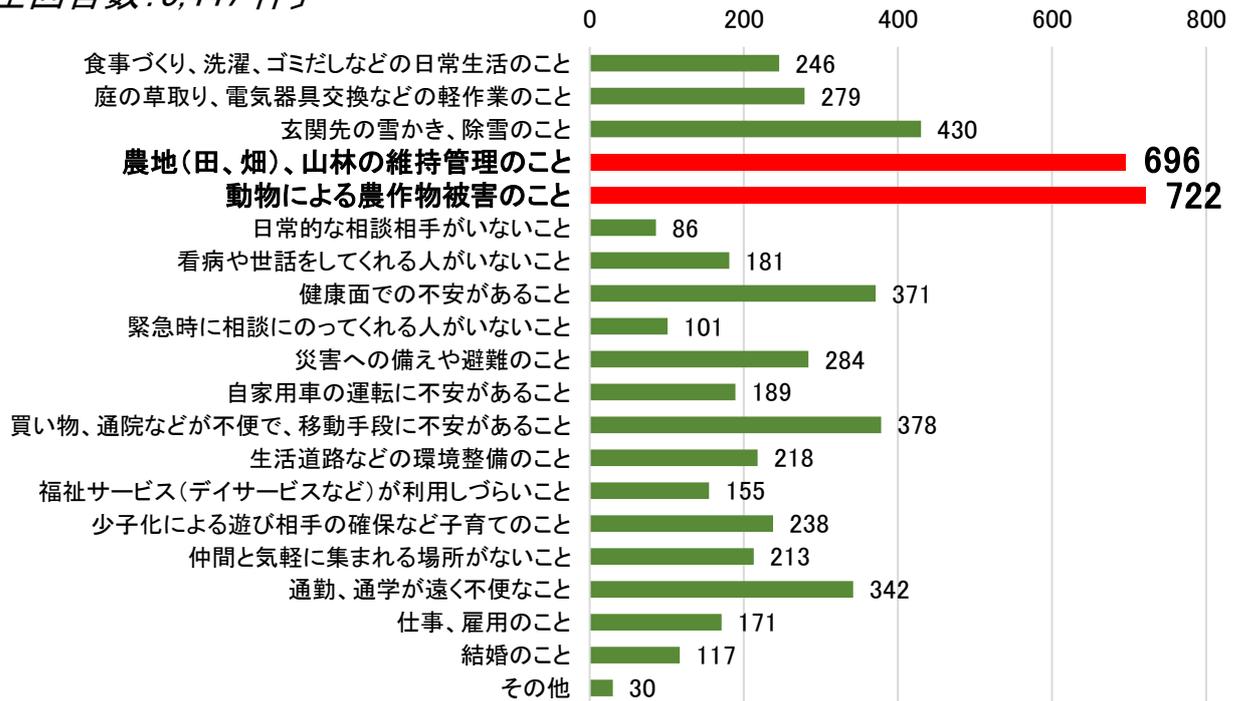
ポイント

10~30歳代の回答結果では、「どちらかといえば住み続けたくない」・「住み続けたくない」と回答した方が132人(51%)もいることから、1人でも多くの若者が住み続けたいと思えるような地区にしていくことが重要です!

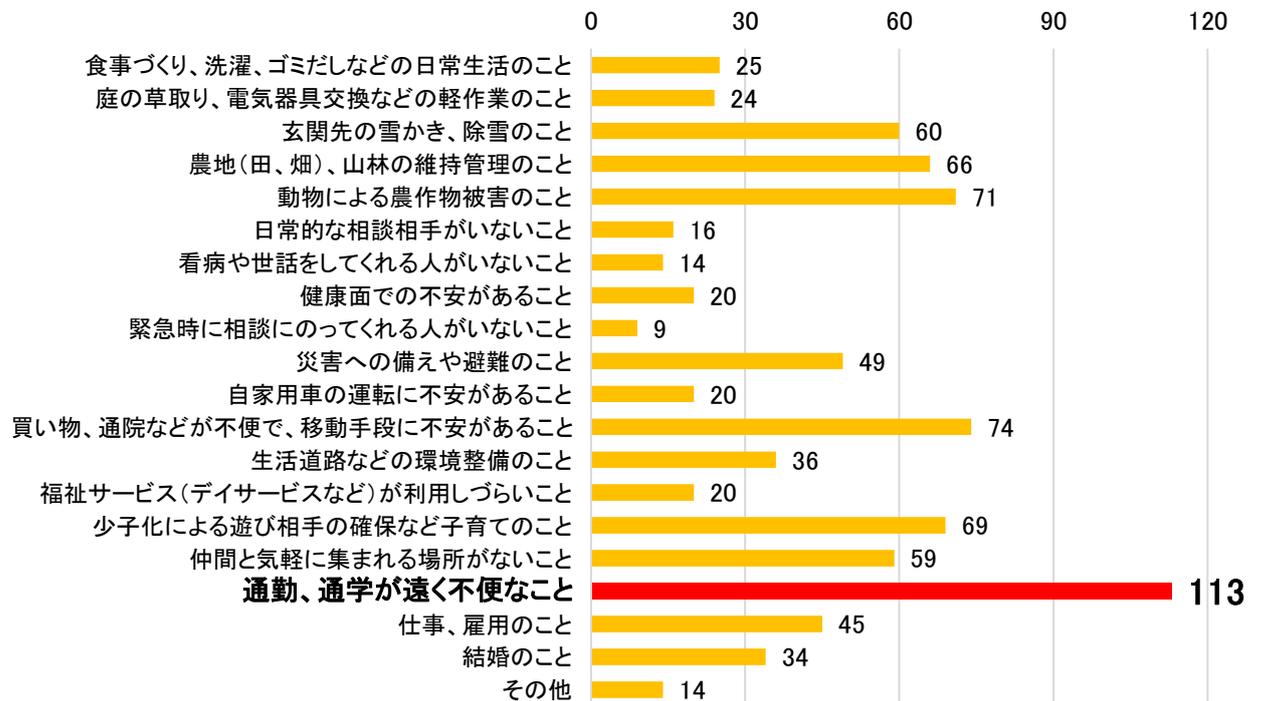
設問:「日常生活において、不安に感じていることや困っていることがありますか」

(複数回答)

[全回答数:5,447 件]



[全回答数のうち 10~30 歳代の回答数:838 件]



ポイント

全回答数と 10~30 歳代の回答数の結果では選択項目に大きな違いが見られるので、今後の活動を検討していくうえでは目的や課題を明確にしながらか取り組んでいくことが重要です!

3. 西根地区の将来像・目標

将来像・目標

よいっしょ西根

～ 若者が集いチャレンジできる地域 ～

この西根地区の将来像・目標には、西根の良いところをみんなで育み、若い人たちにも生まれ育った西根でいろいろなことにチャレンジしてほしいという思いから選びました。人口減少や少子高齢化など地域を取り巻く環境は大きく変わってきておりますが、今だからこそ「よいっしょ！」の掛け声とともに西根地区が一丸となって地域づくりに取り組んでいきます。

将来像・目標の実現に向けて、今後、西根地区振興協議会では次の（１）～（６）のアイデアに基づいて活動していきます。

● 西根地区振興協議会の『6つのアイデア』 ●

- (1) 地区民が気軽に集えるような交流の機会をつくれます! 
- (2) 若者の意見を取り入れた親しみのある活動を行います! 
- (3) ゴミのポイ捨て・不法投棄のないきれいな地区にします! 
- (4) 共同作業への参加促進を図ります! 
- (5) 高齢者も安心して暮らせる地区を目指します! 
- (6) 農地の管理・保全を図ります! 

※ 継続事業についても、引き続き取り組んでいきます!

計画期間: 令和6年度 ～ 令和15年度

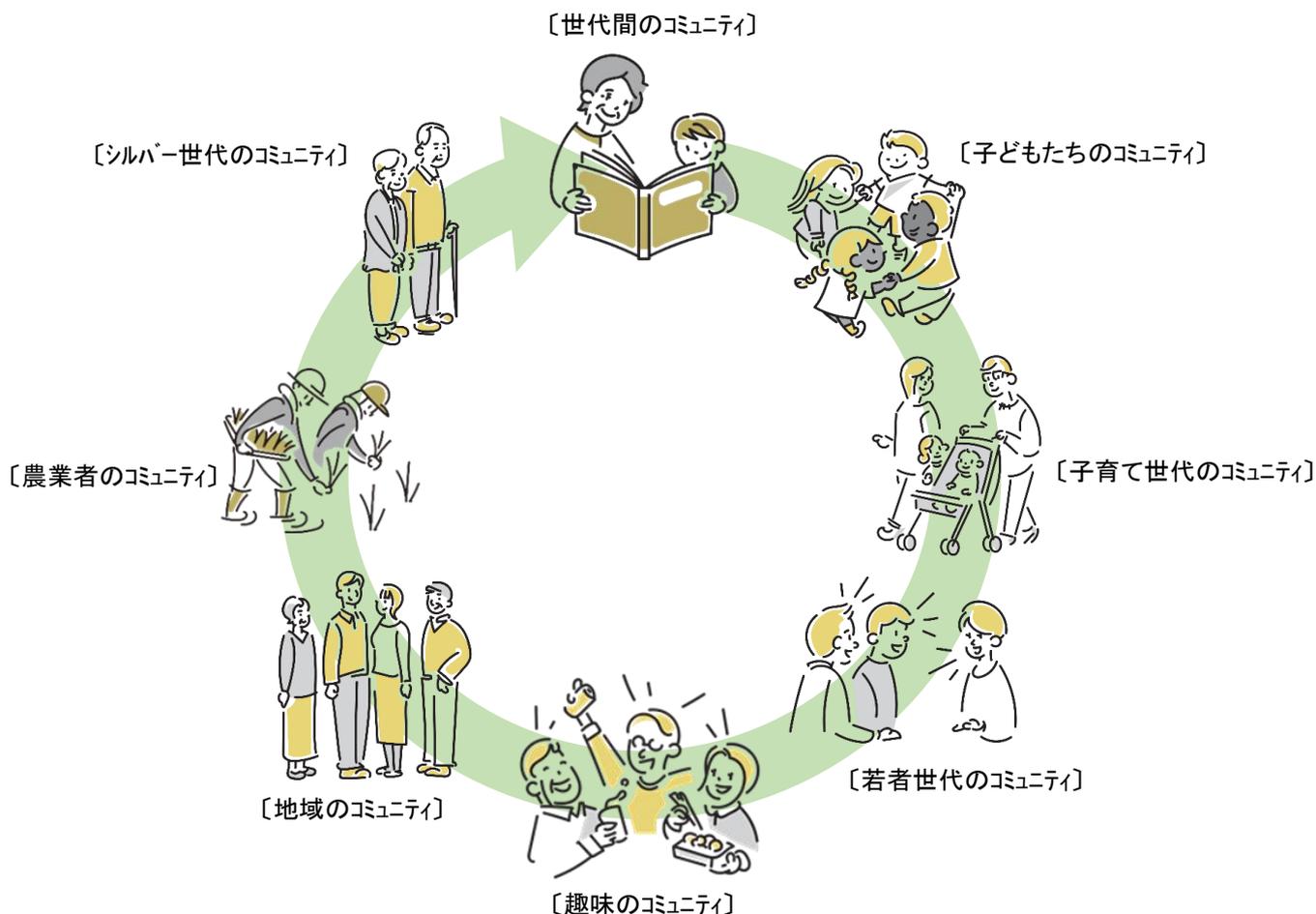
4. 具体的な活動

(1) 地区民が気軽に集えるような交流の機会をつくります!



活動名	交流推進活動						
課題・目的	地区民の交流の場や機会が少なくなっているため、若者から高齢者まで気軽に集える交流の機会をつくる。 また、世代ごとや目的ごとの交流を推進することで、地区内のネットワークを強化する。						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧西根小学校などを活用した謎解き宝探し大会等のイベントを開催 →地区内外の方が誰でも参加できるようにスクールバス等により送迎を実施 ・世代ごとや目的ごとのコミュニティグループをつくる →SNSやホームページ等を活用して各カテゴリーのコミュニティグループをつくり、世代内交流から世代を超えた交流へ広げていく →マンパワーと地域課題のマッチングを図る 						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期	中期	長期
	○				[1~3年]	[3~5年]	[5~10年]
					○		

【コミュニティグループの交流イメージ】



(2) 若者の意見を取り入れた親しみのある活動を行います!



活動名	若者チャレンジ支援活動						
課題・目的	若者の意見が反映される機会や若者の地域行事等への参加が少ないことから、若者の意見を積極的に取り入れたイベントの開催や若者のチャレンジを支援することで、地域活動に興味を持ってもらうきっかけづくりを行う。						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用して西根地区以外の若者も含めイベントの企画・参加を募集 →イベント参加者も含めアンケート等により若者から意見を聞き次のイベントにつなげていく →若者の意見を積極的に取り入れた親しみのある組織づくりに取り組む ・小中高生も含めた若者が意見を出せる場をつくる →小・中学校や高校等と連携して若者の意見を聞く機会をつくる →若者会議のような機会をつくり若者のチャレンジを地域で支援 						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期	中期	長期
	○				[1~3年]	[3~5年]	[5~10年]
					○		

【若者チャレンジの支援イメージ】

〔若者会議〕



〔就農体験〕



〔地域チューバー〕



〔田舎カフェ〕



〔キャンプ場〕



(3) ゴミのポイ捨て・不法投棄のないきれいな地区にします!



活動名	ゼロ ゴミ0活動						
課題・目的	ゴミのポイ捨てや不法投棄が多いので、捨てにくい環境づくりやゴミについての講習会等を行うことで、ゴミのないきれいな地区を目指す。						
活動内容	・ゴミのポイ捨てや不法投棄が多い場所の把握、ゴミパトロールを実施 →注意喚起看板やダミーカメラの設置、ゴミ減量化の啓発、ゴミ分別・ゴミ出しマナー等の講習会を開催						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期	中期	長期
		○			[1~3年]	[3~5年]	[5~10年]
		○			○		

【ゴミ0活動のイメージ】



〔ゴミのポイ捨てや不法投棄が多い〕



〔ゴミ減量化の啓発、ゴミ分別の徹底〕



〔ゴミ出しマナーの向上〕

〔ゴミのないきれいな地区〕



(4) 共同作業への参加促進を図ります!



活動名	共同作業推進活動						
課題・目的	人口減少・高齢化が深刻化していることから、共同作業の実施に支障をきたしており、負担の少ない共同作業のあり方を検討する。						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同作業での機械の活用・機械化を検討 ・共同作業の作業範囲の見直しを検討 						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期 [1~3年]	中期 [3~5年]	長期 [5~10年]
	○						○

(5) 高齢者も安心して暮らせる地区を目指します!



活動名	高齢者支援活動						
課題・目的	少子高齢化が進み、独居高齢者が増えていることから、地区内の助け合いにより高齢者が生きがいを持って安心して楽しく暮らせるように支援する。						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わず交流できる場や機会をつくる ・高齢者の移動手段の確保を検討 						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期 [1~3年]	中期 [3~5年]	長期 [5~10年]
		○					○

(6) 農地の管理・保全を図ります!



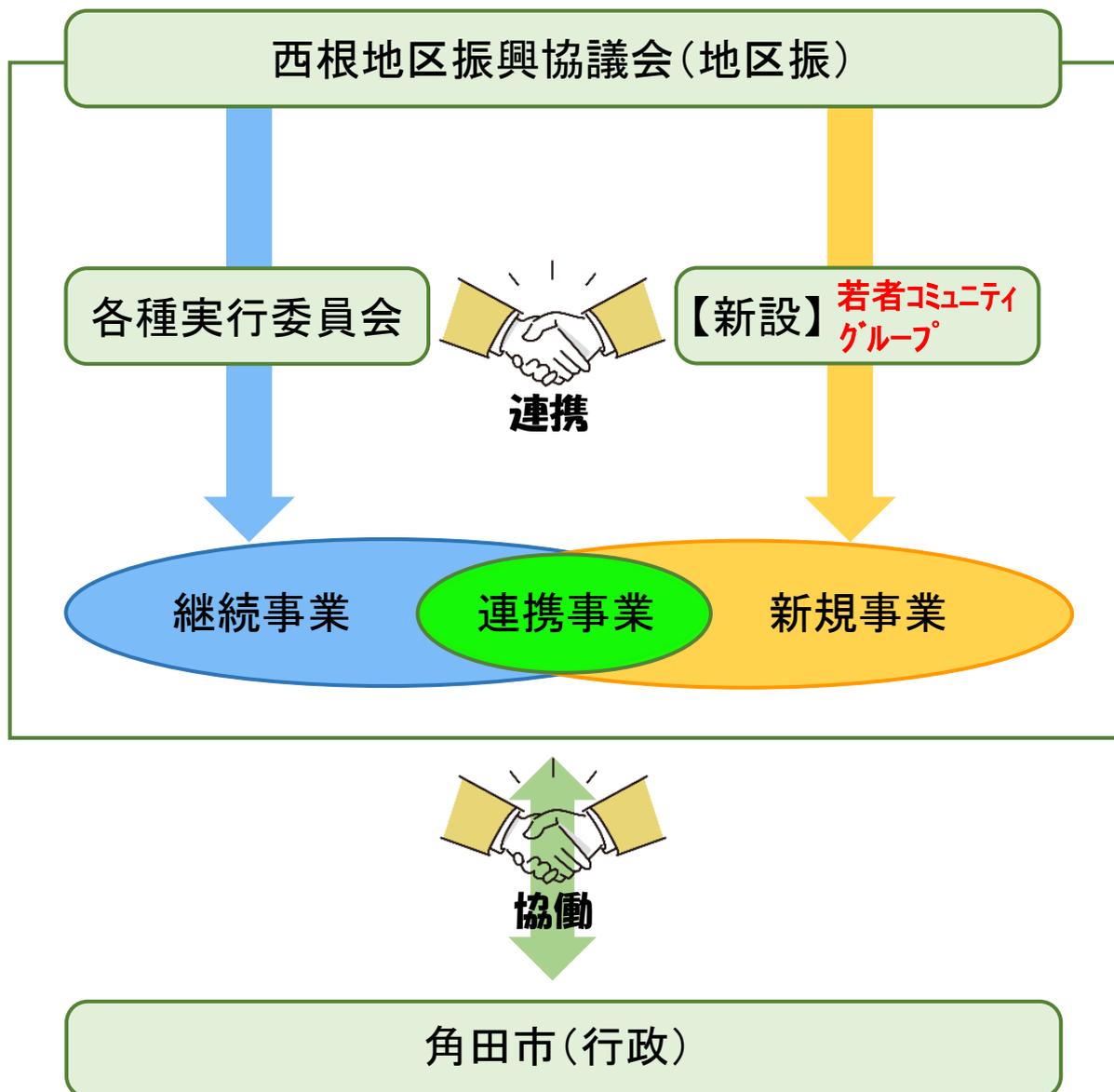
活動名	農業推進活動						
課題・目的	若者の農業離れや農家の高齢化、人手不足などで耕作放棄地が増加していることから、農林業の新たな事業モデルを検討する。						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験プログラム等を検討 ・ふるさと納税等を活用した新たな農地の使用方法を検討 						
実施主体	地区振	協働	行政	実施時期	短期 [1~3年]	中期 [3~5年]	長期 [5~10年]
		○					○

5. 地域づくり計画の推進体制

これまでに取り組んできた球技大会や敬老会、高蔵寺ホテルまつりなどの「継続事業」については、これまでどおり各種実行委員会と地区振興協議会が協力しながら引き続き取り組んでいきます。

また、この地域づくり計画を一層推進するためにも、地区振興協議会の中に新たに「**若者コミュニティグループ**」を設置し若者の意見を積極的に取り入れながら「新規事業」に取り組んでいきます。

これまでに活動実績のある各種実行委員会と若者の感性を活かした若者コミュニティグループが連携することで相乗効果が図られるとともに、西根地区が一丸となって若者のチャレンジを支援することで地域活動に興味を持ってもらい、郷土愛を育んでいきます。



6. 地域づくり計画策定委員等名簿

(1) 地域づくり計画策定委員

No.	行政区	氏名
1	西根1区	佐藤 博悦
2		佐藤 秀男
3		佐藤 弘子
4	西根2区	小野 一則
5		菊地 孝之
6		○八島 浩美
7	西根3区	三浦 拓朗
8		大江 雅子
9	西根4区	○太田 真弘
10		太田 哲義
11		太田 歩美
12	西根5区	佐藤 武久
13		佐藤 則雄
14		高橋 りか
15	西根6区	佐藤 勝彦
16		伊藤 剛之
17		佐藤 文恵
18	西根7区	加藤 健一
19		菊地 秀子

No.	行政区	氏名
20	西根8区	太田 俊洋
21		佐藤 一寿
22		佐藤 恵美子
23	西根9区	板坂 浩司
24		遠藤 俊晋
25		佐藤 千春
26	西根10区	◎熊谷 隆
27		南部 貴志
28		松浦 美枝子
29	西根11区	大槻 正弘
30		目黒 良一
31		吉田 みちる
32	西根12区	村上 貞悦
33		島津 孝幹
34		村上 ゆみ
35	西根13区	日下 良一
36		伏見 裕之
37		渡邊 千鶴

◎:委員長 ○:副委員長

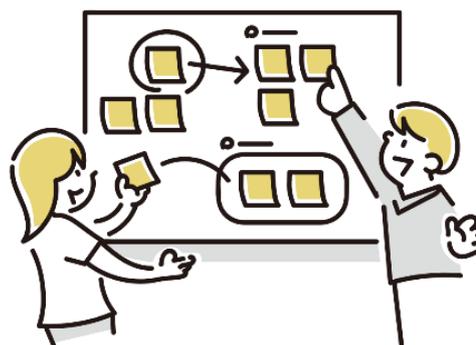
(2) 地域支援班員(角田市職員)

No.	所属	氏名
1	総務課	佐藤 大我
2	企画デジタル課	菊地 浩文
3	財政課	高橋 由美
4		日下 裕紀

No.	所属	氏名
5	農林振興課	加藤 昌之
6	生涯学習課	渡部 高大
7	まちづくり推進課	鈴木 拓

(3) 自治センター職員

No.	職名	氏名
1	自治センター長	太田 文夫
2	自治センター主事	佐藤 由美
3		鈴木 麻佑



7. 参考資料

(1) 現地域づくり計画書の振り返り・評価

実施者：西根地区振興協議会理事会（行政区長）

実施日：令和5年10月20日（金）、令和6年4月4日（木）

評価結果：全事業数：33事業 継続：16事業 終了：17事業

No.	事業名	現状	継続	終了
1	せんだん公園（西根運動公園）活用事業 ・憩いの場、健康推進の場に	①西根体育振興会が管理運営	○	
2	地域のおもてなし隊推進事業 ・高蔵寺を拠点とした観光キャンペーンに協力	①コロナ禍以前は、ボランティア友の会が実施	○	
3	文化活動推進事業 ・伝承文化の伝承、名人リストの作成	①名人リスト作成は未着手 ②神楽の伝承	○	
4	介護の仲間づくり事業 ・介護研修会の開催 など <u>※No.4～7、9を一事業として継続</u>		○	
5	生き生き 生きがよい事業 <u>※No.4～7、9を一事業として継続</u>	①いきいきクラブ活動は、自治センターで支援中 ②武徳館を運動施設として活用	○	
6	一人暮らしサポート事業 <u>※No.4～7、9を一事業として継続</u>	①声かけ、見守りは行政区長及び民生委員児童委員などが実施	○	
7	食楽支援事業 <u>※No.4～7、9を一事業として継続</u>	①自治センターの高齢者の出前講座で、弁当の提供等を実施していたが、高齢化等のため中止	○	
8	ゴミ減量化推進事業	①不法投棄対策は各行政区でその都度実施 ②ごみ減量対策は継続実施	○	
9	地域の高齢者支援事業 <u>※No.4～7、9を一事業として継続</u>	①多角的な検討が必要	○	
10	水辺の環境改善事業 <u>※No.10、14を一事業として継続</u>	①高蔵寺ホテルの里づくり事業推進委員会で諸事業実施 ②西根4区など行政区でも実施 ※せせらぎ公園の除草・クリン植栽 ※EM 団子づくり・投入	○	

No.	事業名	現状	継続	終了
11	西根の名産品掘り起こし事業 <u>※No.11、12を一事業として継続</u>	①アンケートを実施し名産品の掘り起こしを実施したが進展なし	○	
12	西根の名産品開発とPR事業 <u>※No.11、12を一事業として継続</u>	①進展なし	○	
13	農業活性化推進事業・山林の活用推進事業	①将来的に検討	○	
14	ホテルの里づくり事業 <u>※No.10、14を一事業として継続</u>	①高蔵寺ホテルの里づくり事業推進委員会でホテル観賞会、水質浄化活動、せせらぎ公園の清掃活動などを実施 ※ホテル発生箇所看板設置は困難(その場所が荒らされる可能性あり)	○	
15	消費者と生産者の交流事業	①西根地区農業体験交流事業として、西根地区有志が東京都目黒区月光原小学校と田植え・稲刈り事業を実施	○	
16	情報の収集と発信事業	①自治センターだよりは毎月発行 ②空家情報収集は未着手	○	
17	運動会をもっと面白くする事業 ・みんなが楽しく参加できる種目に	①自治センターが検討委員会を設置し検討済		○
18	西根中学校跡地利用検討事業 ・有益な活用方法を提言していく	①市給食センター建設 ②武徳館の活用		○
19	イベント開催支援事業 ・四季を活かしたイベント開催の支援	①さくらまつり、高蔵寺ホテルまつりは実行委員会を結成		○
20	手代木沼ハスの花復活事業 ・復活のための手立てを検討し、提言	①H30、R1年度に復活・開花 ※水利権は北郷地区にあり、事業推進困難		○
21	フラワーロード再発見・構築事業 ・フラワーロードをマップに ・入の坊滝までのハイキングコースを整備	①自治センターの健康づくりウォーキングで踏査 ②コースの整備は未着手 ※フラワーロードのマップ化は不要 ※入の坊滝は費用負担大		○

No.	事業名	現状	継続	終了
22	子育て支援拡大事業 ・タンポポ広場拡大支援 ・子育て西根っ子サークル など	①タンポポ広場は子どもの減少により中止 ②子育てサークルは設立なし ※子どもの数減少により、子育て支援事業の実施は困難		○
23	若者交流事業	①婚活事業として、田んぼアート事業を実施していたが中止した ※西根地区だけでの事業実施は困難		○
24	安全・安心の郷ネットワーク構築事業 角田市安心・安全メール加入促進事業	①ネットワークは未構築 ②加入促進は市で実施中		○
25	声がけ・あいさつ運動推進事業	①小学校閉校前は実施していたが現在は停滞		○
26	防犯防災巡回活動推進事業	①防犯協会、消防団で実施中		○
27	地域安全カレンダー・危険箇所マップ製作事業	①地域安全カレンダー、危険箇所マップは未作成 ②土砂払いは県・市で実施 ※行政区単位で実施		○
28	地域のイメージアップ作戦事業	①「明るい西根はあいさつから」の運動啓蒙は一部実施。		○
29	花めぐりコース設定事業	①コースは未設定だがウォーキング大会を実施		○
30	クリーンウォーキング推進事業	① H22 年度に1回試行		○
31	西根の見所マップ製作事業	①西根観光協賛会で H30年度に「西根8名水」の案内板設置 ②H30、R1 年度に「西根8名水」、「観光マップ」、「観光コース」、「館林館調査」の報告書作成		○
32	イベントカレンダー製作事業	①月毎、行政区毎のイベントカレンダーは未製作 ※行政区では作成困難		○
33	婚活支援事業	①西根5区で田んぼアート事業とあわせて「GOコン」事業をH17年度から数回開催 ②自治センターでは未実施（花嫁修業講座など） ※西根地区だけでの実施は困難		○

(2) 地域づくり計画策定委員会等開催状況

No.	開催日	会議名等	内容等	参加人数
1	R5.6.29	第1回策定委員会	・角田市が目指す「地域づくり」について ・地域づくり策定委員会開催計画について	人 54
2	R5.7.26	第2回策定委員会	・現地域づくり計画書の振り返り ・興味を持ってくれる地域づくり計画書について	39
3	R5.8.23	第3回策定委員会	・地域づくり計画書策定プロセスについて ・西根地区の問題・課題の意見出し	36
4	R5.9.27	第4回策定委員会	・西根地区の問題・課題の整理	33
5	R5.10.27	第5回策定委員会	・西根地区の問題・課題の絞り込み	30
6	R5.11.17	第6回策定委員会	・西根地区の問題・課題の解決策の検討 (すぐに取り組みそうなこと)	28
7	R5.12.13	第7回策定委員会	・西根地区の問題・課題の解決策の検討 (時間を掛けて取り組みそうなこと)	29
8	R6.1.29	第8回策定委員会	・西根地区の問題・課題の解決策の検討 (すぐに取り組みそうなこと)	33
9	R6.3.12	第9回策定委員会	・地域づくり計画書の素案づくり	29
10	R6.4.26	第10回策定委員会	・地域づくり計画書の素案づくり	30
11	R6.5.31	第11回策定委員会	・地域づくり計画書の素案づくり	29
12	R6.6.28	第12回策定委員会	・地域づくり計画書の素案づくり	24
13	R6.7.26	第1回若者コミュニティ グループ準備委員会	・若者コミュニティグループの立ち上げ及び推進 体制について	9
14	R6.9.13	第2回若者コミュニティ グループ準備委員会	・若者コミュニティグループの立ち上げ及び推進 体制について	7
15	R6.11.1	第13回策定委員会	・地域づくり計画書の最終協議	26
16	R6.11.1	第3回若者コミュニティ グループ準備委員会	・若者コミュニティグループの立ち上げ及び推進 体制について ・コミュニティグループの意見出し	14



(3) 『梅檀(せんだん)の木〔表紙写真〕』紹介

梅檀(せんだん)の木は、令和3年度で北郷小学校との統合のため閉校した西根小学校の前身、旧西根小学校跡地の西根運動公園(愛称:せんだん公園)の中央に枝を四方に広げて立っています。

樹齢は約150年、幹周り5メートル、高さ20メートルもある巨木で、5月から6月にかけて淡い薄紫の小さな花が咲き、高倉の町を悠然と見下ろしながら子どもたちの成長と地区の歴史を見守ってきました。梅檀(せんだん)の木の自生域は四国や九州など暖かい地方なので、東北地方でこのような巨木に成長するのは珍しいそうです。

かつて、この木はL字型に立つ校舎の真ん前にあって、樹勢が最も盛んだった時は枝が校庭の5分の1を覆っていましたが、校舎解体後、敷地をならす際に土を削り過ぎたせいか樹勢が衰えてしまい、平成5年に「桜とせんだんの木を守る会」を有志で結成し樹木医の指導を受け回復させました。この活動は現在も続いており、高倉川の桜とともに守りながら、花と緑と安らぎの里づくりをめざして活動しています。

梅檀(せんだん)の木は、これからも西根地区のシンボルであり続けることでしょう。



昭和56年頃の梅檀(せんだん)の木と旧西根小学校校舎

西根地区振興協議会では、今後、西根地区で取り組んでいってほしい活動ややってみたいイベント、地域のトピックス、地域で困っていることなど、地域づくりに関してだけではなく、幅広くみなさんからのご意見を募集しております。

小中高生も含めた若者や西根地区以外の方でも結構ですので、西根地区に関することであればどんなことでもお気軽にご意見をお寄せください。



〔西根自治センターメールアドレス〕

西根地区振興協議会(事務局:西根自治センター)

〒981-1516 角田市高倉字本町15-1

TEL:0224-65-2111

FAX:0224-67-3001

E-mail:nishine-cc@city.kakuda.lg.jp